

平成 30 年度 一般入学試験問題（I 期）

国 語

注意事項

1. 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。
 - ①氏名欄
氏名・フリガナを記入しなさい。
 - ②空欄
「年月日欄」の右横の空欄に「国語」と記入しなさい。
 - ③番号欄
受験番号を左詰めで記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。
2. この冊子は、問題が 21 ページあります。
3. 試験中に印刷の不鮮明、落丁・乱丁あるいは解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に申し出てください。
4. 受験番号が正しくマークされていない場合、採点できないことがあります。
5. 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。たとえば、

10

と表示のある問いに対して 3 と解答する場合は、(例) のようにマークしなさい。

(例)

解答番号	解答記入欄
10	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

6. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

□ ① 次の問に答えなさい。

問一 次の言葉の類義語を、それぞれ1から3の中から選びなさい。解答番号は、①は□1、②は□2、③

は□3、④は□4

- | | | | | | | |
|-----|---|----|---|----|---|----|
| ①奔走 | 1 | 発奮 | 2 | 努力 | 3 | 尽力 |
| ②憤慨 | 1 | 逆鱗 | 2 | 激怒 | 3 | 悪態 |
| ③調停 | 1 | 仲裁 | 2 | 助勢 | 3 | 協賛 |
| ④泰然 | 1 | 沈着 | 2 | 沈静 | 3 | 安堵 |

問二 次の言葉の対義語を、それぞれ1から3の中から選びなさい。解答番号は、①は□5、②は□6、③

は□7、④は□8

- | | | | | | | |
|-----|---|----|---|----|---|----|
| ①醜悪 | 1 | 美麗 | 2 | 洗練 | 3 | 華奢 |
| ②湿潤 | 1 | 飢渴 | 2 | 乾燥 | 3 | 除湿 |
| ③左遷 | 1 | 出向 | 2 | 栄転 | 3 | 異動 |
| ④一括 | 1 | 断片 | 2 | 等分 | 3 | 分割 |

問三 「**【**」に記されている二つの言葉の関係と同じ関係になる組み合わせを、それぞれ1から4の中から選びなさい。ど

ちらの言葉が前で、どちらの言葉が後になっているかということにも注意しなさい。解答番号は①は 、②

は 、③は 、④は

①【始発—終発】

- 1 事件—解決 2 開幕—閉幕 3 除草—収穫 4 発端—山場

②【五穀—麦】

- 1 惑星—金星 2 針葉樹—広葉樹 3 雑煮—餅 4 月刊誌—雑誌

③【勝負—損益】

- 1 出発—到着 2 直線—曲線 3 自他—是非 4 読書—乗車

④【正当—不当】

- 1 急激—緩急 2 事実—偽物 3 明年—晩年 4 正道—邪道

問四 ①から④の太字で表した言葉は、特定の動詞と結びついて用いられることが多い。結びつく動詞をそれぞれ1から3の中から

ら選りなさい。解答番号は①は 、②は 、③は 、④は

① 与党と論戦を

- 1 交わす
- 2 張る
- 3 囲む

② 何かと物議を

- 1 畳む
- 2 振るう
- 3 醸す

③ 過去は不問に

- 1 付す
- 2 預ける
- 3 努める

④ 交渉の中で言質を

- 1 盗む
- 2 取る
- 3 奪う

問五 熟語の構成のしかたには次のようなものがある。

- | | |
|---|----------------------------|
| 1 | 同じような意味の漢字を重ねたもの（岩石） |
| 2 | 反対または対応の意味を表す字を重ねたもの（高低） |
| 3 | 上の字が下の字を修飾しているもの（洋画） |
| 4 | 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの（着席） |
| 5 | 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの（非常） |

次の熟語は右のどれにあたるか、それぞれ1から5の中から選びなさい。（同じ数字を何回選んでもよい）解答番号は、

①は 、②は 、③は 、④は

- ① 衆寡
- ② 媒介
- ③ 殉職
- ④ 争覇

□ ② 次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

国民投票などで社会を根底から変えるような大きな選択をするとき、これはほんとうに自分の望んだことなのか、あるいは違うのか、誰しも考え^aれば考えるほど分^aから^aなくなってしまうのでは^イないだろうか。たとえばEU □ I □ の是非を問うイギリスの国民投票も、熱狂が冷めたあとには、多くの国民にとって □ I □ という現実だけが残っていたのではないだろうか。もちろん、起きてしまったことはもう元には戻らない。一つ間違えば国家の分裂につながる^ウないとも限らない、そんな決定的な選択が、日常生活の傍らで日めくりを一枚めくるようにして起こり、過ぎてゆくのが、私たちのもっている^①投票という権利の行使の現実なのだ。

与党とその □ II □ 勢力で3分の2を超える議席を獲得する結果となった先の参院選も、終わってみれば、これが戦後日本の決定的な曲がり角になるという実感はむしろ^ホ茫洋としており、一日本人として何をどう悔やみ、怖れたらよいか、なかなか明確な言葉は^エない。老いも若きも将来不安を抱え、ただひたすら安定を求めた結果が与党の圧勝だとすれば、筆者のように3分の2を怖れるのはいまや少数派の^イ杞憂、もしくは時代の^ウ趨勢に反した特殊な考え方ということにもなる。選挙前、消費増税の公約を撤回して^②「新しい判断」と言つてのけた首相の □ III □ について、増税延期は有り難いのだから言葉などはどうでもいいというのがいまや国民の常識であり、政治家にあるまじき^エ詭弁だと憤慨するほうが例外になったということである。

憲法は、時代に合わせて変えればよい。憲法前文の主語が □ A □ から □ B □ に変わっても大したことはない。それよりとにかく景気対策を！ こう叫ぶ多数派は、^③この先起きるであろうことへの想像力を決定的に欠いてはいるが、何であ^レれ時代の大きな流れをつくり、そこに自ら呑み込ま^レれてゆくのが多数派というものだろう。一方、少数派が信じる民主主義の理念や立憲主義と、幾ばくかの理性や知性はここへきてついに過去の □ IV □ になり、両者の間には乗り越え^オられない決定的な壁が出現しているのかもしれない。かの「新しい判断」がそうであるように、多数派は少数派には理解できない言葉や論理を使うため、両者をつなぐ回路は基本的に存在し得ない。それでもわずかばかりの理性ゆえに、少数派はなおもこの国の未来を案じる

ことを止め^eられないし、小説家は人間への眼差しを捨てることもできないのだが、筆者にはいま、自身の視線が少しずつ同時代を離れてゆきそうな予感もある。

(高村 薫『少数派の独り言』)

問一 傍線aからeの語を品詞や用法によって三つに分類した組み合わせとして最も適当なものを、次の1から5の中から選びな

さい。解答番号は 21

- 1 「a・d」と「b・e」と「c」
- 2 「a」と「b」と「c・d・e」
- 3 「a・c」と「b・d」と「e」
- 4 「a・b・c」と「d」と「e」
- 5 「a・b」と「c」と「d・e」

問二 傍線アからオの語を品詞別に二つに分類した組み合わせとして最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答

番号は

- 1 「ア・ウ」と「イ・エ・オ」
- 2 「ア・オ」と「イ・ウ・エ」
- 3 「ア・ウ・オ」と「イ・エ」
- 4 「ア・イ・ウ」と「エ・オ」
- 5 「ア・エ・オ」と「イ・ウ」

問三

にあてはまる語として最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

- 1 脱却
- 2 離脱
- 3 離合
- 4 脱俗
- 5 脱出

問四 傍線①「投票という権利の行使の現実なのだ」とはどういうことか。最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。

解答番号は

- 1 社会を根底から変えてしまうような重大な選択は、政府が本来するべきであるにも関わらず、批判を恐れて国民に丸投げしてしまうこと。
- 2 投票の持つ重大性について深く考えることもせず、貴重な投票の権利を放棄しておきながら、決定されたことについて不平を言ってしまうこと。
- 3 日常のありふれた行為の流れとして行われた投票によって、我々の生活を根本から変えるかもしれない重大な選択がなされてしまうこと。
- 4 全国民が参加する国民投票では、それぞれが異なる考えを持っているので、投票によって決定したことに不満が残ってしまいがちであること。
- 5 日頃政治的なことに関心を持ったことのない人たちも、よく考えないまま投票に参加しがちなので、誤った選択がなされてしまうこと。

問五

II

にあてはまる語として最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

25

- 1 補足
- 2 補整
- 3 補綴
- 4 補完
- 5 補充

問六 傍線あ、い、う、えの読みとして最も適当なものを、それぞれ次の1から5の中から選びなさい。解答番号はあ

は 、いは 、うは 、えは

あ「茫洋」

- 1 はんよう
- 2 おうよう
- 3 しゅうよう
- 4 そうよう
- 5 ぼうよう

い「杞憂」

- 1 こゆう
- 2 きゆう
- 3 きう
- 4 きうつ
- 5 こう

う「趨勢」

- 1 すうせい
- 2 げんせい
- 3 ちようせい
- 4 しゅうせい
- 5 じっせい

え「詭弁」

- 1 きようべん
- 2 かつべん
- 3 きべん
- 4 こうべん
- 5 とつべん

問七 傍線②「『新しい判断』」とあるが、筆者がカギ括弧（「」）を用いた理由として最も適当なものを、次の1から5の中から

選びなさい。解答番号は

- 1 選挙前に減税を公約するというのは昔からよくあることで、取り立てて新しいこととは言えないと考えたから。
- 2 選挙で勝利するための方便であって、未来を見据えて熟慮した上で下された判断とは言えないと考えたから。

- 3 公約は政治家が有権者に示す大事な約束であるのだから、それを事前に変えてしまうことには違和感があると考えたから。
- 4 増税の公約を国民のために撤回した首相の決断が、画期的であったことを読者に強調したいと考えたから。
- 5 選挙直前に公約を変えることによって圧勝した与党の選挙戦略が、きわめて新しいやり方だったと考えたから。

問八

Ⅲにあてはまる四字熟語とその意味を、それぞれ次の1から5の中から選びなさい。解答番号は四字熟語

は 31、意味は 32

四字熟語

- 1 急転直下
- 2 暗中模索
- 3 右往左往
- 4 朝令暮改
- 5 本末転倒

意味

- 1 うろたえて混乱すること。
- 2 物事で重要な部分とどうでもいい部分を取りちがえること。
- 3 命令や法令などがすぐに変わって定まらないこと。
- 4 物事が急に变化して解決に向かうこと。
- 5 手がかりがつかめず、あれこれとやってみること。

問九 、 にあてはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答

番号は

- 1 A ∥ 国家 B ∥ 国民
- 2 A ∥ 日本人 B ∥ 人類
- 3 A ∥ 国民 B ∥ 政府
- 4 A ∥ 国民 B ∥ 国家
- 5 A ∥ 政府 B ∥ 国民

問十 傍線③「この先起きるであろうことへの想像力を決定的に欠いてはいる」とはどういうことだと筆者は考えているか。筆者の考えとして最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

- 1 目先の利益にばかり目がいき、日本の体制が大きく変化することによって、これまでの生活が良くない方向に変わるかもしれないことに気づいていないこと。
- 2 日頃から政治や経済についてまったく関心がないため、現在起こっていることから、将来起こりうることを推測する能力が下落していること。
- 3 経済問題を最重要視するよう政府に要求することによって、今まで以上に国民の負担が増えてしまうかもしれないことと考えが至らないこと。
- 4 憲法の問題を景気対策の問題とリンクさせてしまうことによって、日本が国際社会から孤立する恐れがあることにまったく気づいていないこと。

5 自分たちの意見だけが正しいと考え、少数派の意見を排除しようとすることによって、国民の連帯感が失われるかもしれない危険性について考慮しようとしなさい。

問十一

IV

にあてはまる語として最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

35

1 残物

2 汚物

3 老廃物

4 風物

5 遺物

三 次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

花にも心はある。物にも魂はある。昔の人はそう信じていた。物の怪、物忌み、物狂い、物病み等々、日本人にとって、物とは魂そのものを意味した。^① もののふも、物部氏から出た名称で、靈魂を司る氏族であったが、力強い魂は、強靱な武器に宿るときに、彼等が祭った石上神社には、不思議な形をした刀劍の類があり、殊に有名な七支刀（七つの枝に分れた槍のような武器）などは、古代人の心が躍動しているようで、「刀は武士の魂」という後世の言葉にも、長い歴史が秘められていたことを思わせる。彼等にとつては、刀を磨くことが、即ち心を磨くことであった。刀を打ったり、磨いたりした手応えの中から、武士道精神は生れたといつていい。決して戦時中説かれたような抽象的な思想ではなく、元はといえば、荒ぶる魂を鎮める為の、^② 平和な行為であったのだ。

茶道の精神についても、色々なことがいわれるが、それよりむしろ一本の茶杓を取扱う手つき、もしくは一箇の茶碗の上に、^③ 利休の思想はよく現れているように思う。

先日私は、ある数寄者の家で、沢山お道具を見せて頂いた。いわゆる茶人ではなく、道具が好きで、若い頃から買いはじめ、自然にお茶へ入って行ったという方である。その中に、平凡な白木の盆があった。何でもない四角な盆なのだが、薄作りで、その軽い触感がこたえられない。隅々まで神経が通っていて、さわっていると、自然に心が和むような、そういう感じのものだった。^④ 伺つてみると、利休が作らせたものとかで、時価百万円ぐらいはするという。それは利休の名に対する価であるには違いないが、^⑤ といつて、これ程の名品は、探しても絶対にはない。その所が私には面白かった。それにしても、平凡な白木の盆に、百万円も投ずる人は、日本人以外にはないだろう。だが、それは決して空想的な値段ではない。画商が新画の値をつり上げるのと違って、利休以来、四百年の間、鑑賞家達の厳しい試練を経て成立した価なのである。茶道具の中には、利休や宗旦が所持したというだけで、不当な値段がつくものもあるが、それ程人間に対する信頼が大きいといふことは、面白いことではないだろうか。物は人なり、なのだ。箱や箱書を尊重することも、下らないといえ下らないことだが、二重三重の箱に入れて、大切にしたら美術品は残つ

たのである。道具が好きな人達は、被服（またはシフク）といって、袋や紐にまで気を遣う。まるで好きな女にきものを着せるように、中身に似合った布を選ぶのに時間と金をかける。⑧ こういうことも他の国ではないことである。先日、東京国立博物館館長の浅野（長武）さんが、座談会で、面白いことをいわれていた。

「日本の美術品は、皆個人が大切に持っていて、肌身離さず秘蔵したから残ったのです。博物館などにあずけるようでは駄目ですね」名博物館長である。浅野家には、周知のとおり、国宝級の名品が沢山あり、その経験から発した言葉だと思うが、そういう気持で経営して下されば、博物館も安泰だ。私などは物の I ではないが、それでも好きで集めたものがいくらもあり、陳列に貸してくれと頼まれる時がある。はじめは得意で出品したが、この頃は⑨ 少しいやになった。出し惜しみするわけではなく、何か自分の一部といったように、大事にしているものを、人目にさらすのが辛いのである。こういう気持は、骨董好きにしかわかって貰えないと思うが、よかれあしかれ、日本の鑑賞には、そういう人間臭さがつきまとう。私物化するのはよろしくない、なるべく多くの人に見て楽しんで貰いたい、そう思う気持がないわけではないが、単なる 物見高さ⑩ から見物されては堪らない。もともと日本の美術品は、そのような鑑賞に堪えられるように育ってはいない。ガラス越しに見ても、その真価がわかる筈はなく、手にとって、使ってみて、長い間付合った上で、はじめて納得が行く人間的な存在なのである。

それにしても、この頃の展覧会の混雑ぶりは異様で、ちよつと近よれない感じがするが、日本人の生活力と好奇心の現れと思えば、喜ぶべきことだろう。柳宗悦氏は、しきりに「じかに物を見る」⑪ ことを説いたが、そこではじかに見ることが、未だ充分行われているとは思えない。学生の団体など、物を見るより、解説書きの前で筆記していることが多いのは、翌日先生に感想を聞かれる為だろうか。知識を持つのはむしろいいことだ。が、物がなくて知識だけあるのは恐ろしいことである。箱書だけ尊重するのと同じように、自分で見たり、考えたりする力をなくし、いつも外の力に頼る。いつの間にか生活のすべてに 互⑫ 互ってそれが習慣と化すからだ。

鑑賞という言葉も、昔はなかった。鑑賞とは、先にもちよつとといったように、生活の中で、物と一緒に暮すことを指し、長い間

暮してみれば、人間と同じように、何がわかったといえなくても、何かしらはつきりつかむものがある。つかめば他のものを見る場合にも応用できる。知識とか理論とか、間に何も交えない直接的な鑑賞法を、柳さんは「じかに物を見る」といったのである。

(白洲正子『日本のもの・日本のかたち』)

問一 傍線①「もののふ」は、文章の内容から判断してどのような漢字で書き表せるか。最も適当な漢字を、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

36

- 1 物武
- 2 武士
- 3 強物
- 4 刀剣
- 5 靈魂

問二 傍線②「平和な行為」とあるが、なぜ筆者はこのように考えたのか。最も適当な理由を次の1から5の中から選びなさい。

解答番号は 37

- 1 刀の手入れは、刀にとりついた魂を無理矢理そこから引き離すのではなく、平和的に元の世界に返してやる手段となるから。
- 2 刀の手入れを通じて、何が自分にとっての正義なのかを見極めることができるため、愚かな戦いをしなくてすむから。
- 3 刀をどのように作ったり手入れをしたりすればよいかを真剣に考え、取り組むことで、自然と健全な心が育成されるから。
- 4 心静かに刀の手入れを行うことによって、戦いを回避し平和な関係を他者と結ぶための方策について熟慮することができるから。

5 刀を大事に手入れすることは、刀に宿っている力強く荒々しい魂を穏やかで平和な状態に保つための行為となるから。

問三 傍線③「利休の思想」とはどういう考えだと筆者は考えているか。最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。

解答番号は 38

- 1 何百年後までも残るよう道具を大切に扱い、その価値が後世の人々に正しく伝わるよう努力しなければならないという考え。
- 2 他者の意見に惑わされずに正しい評価を下せるように、常に良いものを鑑賞し、厳しい修練を積まなければならないという考え。
- 3 背伸びをせず、何気ない日常生活の中にささやかな喜びを見いだし、平凡に生きていくのが一番幸せだとする考え。
- 4 華美なものや奇抜なものを求めず、何気ないように見せながらもその背後に十分な心配りを尽くそうとする考え。
- 5 今は価値がないように見える平凡な道具に、将来莫大な利益を生むような付加価値をつけようとする考え。

問四 傍線④「数寄」のよみと本文から読みとれるその意味の組み合わせとして正しいものを、次の1から5の中から選びなさい。

解答番号は

よみ

意味

- | | | | |
|---|-----|---|-----------------|
| a | すき | d | 茶道や茶道具が好きの人 |
| b | すうき | e | 数多くの茶道具を所持している人 |
| c | じゆき | f | 茶道のために寄付をしている人 |

1 aとd

2 aとf

3 bとf

4 cとd

5 cとe

問五 傍線⑤「白木」のよみを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

1 はくぼく

2 はくもく

3 しらき

4 しろき

5 びやくぼく

問六 傍線⑥「伺って」と同じ種類の語を、次の1から5の傍線部の中から選びなさい。解答番号は

41

- 1 おいしいケーキをいただいた。
- 2 校長先生がおっしゃった。
- 3 お客様がいらっしゃる。
- 4 先生が電話をなされた。
- 5 映画をご覧になった。

問七 傍線⑦「人間に対する信頼が大きい」とはどういうことか。最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番

号は

42

- 1 物は、そこに宿っている所持者の魂の価値によつて評価されるものだということ。
- 2 その物の価値を最終的に判断した人に対して、絶対的な信用を寄せるということ。
- 3 道具そのものよりも、それが入っている箱に誰が文字を書いたかが大事だということ。
- 4 たとえ有名な人物が所持したことがなくても、自分の道具を良い物だと信じること。
- 5 有名な人物が関わったかどうかということが、物の価値を大きく左右するということ。

問八 傍線⑧「こういうこと」の指す内容として最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

43

- 1 好きな女性のために似合う着物を選ぶのに、信じられないような時間とお金を費やしても平気なこと。
- 2 貴重な美術品を何重もの箱に厳重に封じ込んで、何百年ものあいだ大切に保管し続け後世に残したこと。
- 3 美術品そのものをただ所持するのではなく、それを入れる箱や包む布などにまで細やかな神経を行き届かせること。
- 4 一見すると下らないと思われるようなことにこそ価値があると考え、その価値を高めることに真剣に取り組むこと。
- 5 美術品が少しでも長持ちするように、保管に適した箱や布を選ぶのに時間やお金を惜しまないこと。

問九

I

に入る最も適当な漢字を、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

44

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 類 | 種 | 例 | 数 | 怪 |

問十 傍線⑨「少しいやになった」とあるが、なぜ筆者はいやになったのか。最も適当な理由を、次の1から5の中から選びなさい。

い。解答番号は

45

- 1 大事にしている骨董品を人に見せることは、自分自身が人に見られていることのように感じるようになったから。
- 2 有名な博物館に陳列の協力を要請されて有頂天になって自慢していた自分自身が、恥ずかしく思えてきたから。
- 3 大事に秘蔵してきた美術品を、なんの知識も教養もない人たちに見せることが、もつたいなく感じられるようになったから。
- 4 多くの人に見られることによって、貴重な骨董品の価値が下がってしまうのではないかと懸念したから。
- 5 自分の大事にしている美術品を、展示会場のガラス越しにしか見てももらえないことに対して、憤りが湧いてきたから。

問十一 傍線⑩「物見高さ」とはどういう意味か。最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

46

- 1 良い物しか見たがらない性質
- 2 何かあると、すぐにそれを見たがる性質
- 3 高い所から見下したがる性質
- 4 一番前で見なければ気がすまない性質
- 5 見ることも批評することを好む性質

問十二 傍線①『じかに物を見る』とは美術品をどのように見ることか。最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。

解答番号は

47

- 1 知識や理論を一切否定し、その美術品の真の価値を直接手に触れることによってのみ見いだそうとすること。
- 2 展示室のガラス越しではなく、直接手に取ったり使ったりした上で、その美術品の価値を正しく判断すること。
- 3 ただ自分の感覚だけを頼りにして美術品に対峙し、他の人が思いつかなかったような領域に達すること。
- 4 知識や理論を介在させることなく、その美術品と直接向き合い、自分なりの感じ方や考え方を見いだすこと。
- 5 美術品が納められている箱や箱書きなどに惑わされることなく、美術品本体のみを鑑賞対象として見ること。

(設問以上)

